第１６号

会報　めいおんの会

発　行　　　平成２８年７月１５日
「めいおんの会」（名古屋音楽大学出身教員の会）
事務局　　名古屋市緑区大清水四丁目 522
TEL･FAX　（052）877-1243
発行責任者　　会長　百合草　薫

４０年ぶりに大学という環境に帰ってきて

名古屋音楽大学特任教授（教職担当）
吉　川　範　行

名音大教職担当として２年目を迎えました。昨年は教職の小泉 孝先生と音楽教育の柴田 篤志先生に教えていただきながら、教職をめざす学生とともに、「道徳教育論」「教師・教職論」「音楽科教育法」「教育実習事前事後指導」「教職実践演習」「教職の基礎」等の講義を通して、学校現場での日々のドラマを想定した授業を構成することを心がけて取り組んできました。

大学内を歩くと、あちこちから音楽が聴こえてきます。学生と話していても、生き生きした姿から音楽を発信し続けていることを実感することができます。私ももっと生き生きしていなければ･･･・。詩人金沢智恵子氏の「先生の生き生き」という言葉を自分自身に言い聞かせているこの頃です。小学校在職時の終わりの７年間、卒業生に贈る歌を作り続けてきた自分。自分の音楽を伝え続ける努力を忘れてはいけないと新たな模索を始めています。

さて、今年も名音大を卒業した１９名が新しく教壇に登られたと把握しています。５月から６月にかけて教育実習が行われ､私も１０校以上の中学校･高等学校を訪問してまいりました。めいおんの会会員の指導教官の先生と話す機会をいただいたり、管理職から名音の先生方の活躍の様子をお聞きしたりして、とても充実した時間でした。大変うれしい思いです。

大学の教職課程では様々な取組の中から、学校とのつながりを大切にした活動に重点を置いています。道徳教育論では「要としての道徳」という言葉から「道徳と音楽」について考えたり、教師・教職論では学校現場での問題例の紹介と対応についての討論を行ったり、教育書を読んでの発表会の開催などから学びを大切にしたりしています。2013 年に４年生に位置づけられた「教職実践演習」の授業では、フィールドワークを取り入れ、教育現場へ参加するプログラムを組み込んでいます。多くの学校にご協力いただき、授業参観や行事の参観・参加などを行い、学ばせていただいています。ぜひ、先生方にも声をかけさせていただきたいと思っています。その折にはご協力をよろしくお願いいたします。

さらに、名音大では「小学校教諭免許状取得支援制度」が今年度からスタートしました。これは、本学在学中に「佛教大学通信教育課程特別科目等履修生」として小学校教諭免許状を取得させるために必要な単位を２年次から修得する制度です。これにより、平成３０年度卒業生から、卒業時に小学校教諭免許を持った卒業生が誕生する予定です。

♪♪平成 28 年度 総会･研修会･懇親会のご案内♪♪

【日　時】　８月２１日(日)　10:00～10:20（総会)、10:30～12:30（研修会)、13:00～15:00（懇親会)
【会　場】　名古屋音楽大学　総会：Ｂ３０１、研修会：Ｃ１０１、懇親会：学園食堂
【講　師】　名古屋音楽大学非常勤講師・オルガニスト　小　川　有　紀 先生
【テーマ】　『パイプオルガンの魅力に触れよう』～見て　聴いて　さわって　感じて～

子どもたちに、パイプオルガンの魅力をどのように伝えたらよいか。楽器を体験したり、オルガン曲を聴いたり、鑑賞教材「フーガト短調」についてディスカッションをしたりして、探っていきます。
乞うご期待を！　皆様、お誘い合わせてご参加ください。

寄　稿

教員生活を終えて

前名古屋・名東小　　早川今日子（S52卒）

私は38年間、音楽専科として、小学校に勤務しました。教師というのは、すぐに答えは出ませんが、やればやっただけ成果が得られる、実にやりがいのある仕事だと思いました。

私の日々の授業の目標は、子どもたちに学習に興味を持たせ、意欲的に参加させること、授業が終わったとき、「自分はこの1時間、一生懸命やって楽しかったな」とか、「自分は演奏を表現する力が上達したな」という満足感を持たせることでした。例えば新しい曲への導入時、カラオケだけを聞かせ、教科書の中から曲を探させたり、歌詞だけを先に読み、自分ならどんなメロディーをつけるかイメージしてから、曲を聞いたりするなど、子どもたちにクイズに挑戦するかのように、興味を持たせ、考えさせました。そういった活動から子どもたちは、自然に読譜力や曲想表現などを身につけることができます。

また、リコーダーの学習では、個々の児童の力量に対応するために、得意な子にはスラーやスタッカート、曲想表現を、苦手な子には個別指導や、「大事な箇所だけの演奏で良い」とするなど、各自に応じた目標を持たせ、時間の浪費や意欲の喪失を防ぐことに気を配りました。

指導方法というのは一つだけが正しいのではなく、人それぞれいろいろな正しい指導法があります。大事なことは「あきらめないこと」です。

現役の皆さんには、ぜひご自分の授業スタイルを見つけ、続けてほしいと思います。

教師になって

愛知県立みあい特別支援学校　平野　留巳（H27卒）

4月から初任者として特別支援学校に勤めています。一年前、講師として初めてこの校種に来た私は、そこで元気いっぱいに過ごす子どもたちや、先生方のきめ細かな指導を間近で見て、特別支援教育について一から勉強していく覚悟を決めました。当初はまさしく右も左もわからないまま中学3年生の音楽を担当することになり、特に教材の「わかりやすさ」は自分では気付けないことが多く、生徒の言葉や周りの先生からの助言に目が覚めることの連続でした。教材や教具の工夫次第で、最初はあまり反応を示さなかった生徒たちも目を輝かせて注目するようになったりしますが、その鍵に気付くためには、日ごろから常にアンテナを張って過ごしていなければなりません。今年は高校1年生の所属になり、就職に向けた指導も慣れないことばかりで、汗をかきながら勉強している最中です。

生徒たちが音楽をより身近なものに感じ、楽しみ方の幅を広げることができるよう、毎日試行錯誤を重ねて授業を行っています。音楽の形を捉えるために曲に合う絵を考えたり、ときには歌をつけたり、打楽器を叩いたり、踊ってみたり。楽譜に向き合う際、学生時代にはつい省略してしまっていたプロセスに、今じっくりと時間をかけて取り組めているのかもしれません。

人との出会いがいつも自分を導いてくれているのだと感じます。これからは自分が教師として生徒にとってそのような存在になれるよう、励んでいきたいです。

会員の異動

7月15日現在、（SH卒年）名古屋市立は市名略、愛知県は市町村名、他は都道府県名を記す。

【教諭(本務)】
＜退職＞早川今日子(52)名東小、**伊藤比佐乃**(58)冨士中、**岡田真奈美**（25）豊橋・吉田方中
＜転任＞水崎路子(56)山田東中→東港中、**牧　範子**(58)清水小→八幡小　**藤松眞人**(59)名塚中（教頭）→駒方中（教頭）、**小川慶子**(59)東港中（特支）→大曽根中（特支）、**谷辺晶子**（9）八幡小→山吹小、**島田美帆子**(10)南陽中→南光中、**斉藤玲子**(11)名城小→大和小、**徳田智恵美**（17）天白養護→南養護、**細谷史帆里**(19)守山養護→南養護、**筒井明子**(22)新郊中（特支）→南養護
＜新任＞阪野未彩季(26)豊橋・東陽中、**平野留巳**（27)岡崎・みあい特別支援、**鈴木菜奈美**(28)豊橋・東部中
【講師】＜転任＞杉山まり子(50)庄内小→弥富小、**谷口紀美江**(56)南養護→守山養護、**森　佳美**(10)豊が丘小→田代小、**小川あゆみ**(22)南陽中→宝神中、**多田直幸**(20)豊川・西部中→阿久比・阿久比中
＜新任＞櫻間瀬奈(28)野跡小、**伊佐治若菜**(28)愛西・佐織特別支援、**服部夏奈**(28)北名古屋・訓原中、**柴田安悠**(28)知立・八ツ田小、**森　愛子**（28）豊田・若園中、**石橋由紀**(28)静岡・浅井中、**森本　碧**(28)岐阜・瑞浪中、**長谷部みのり**(28)岐阜・富野中、板取川中

＝編集後記＝

◆巻頭言は、名古屋市教育委員会指導主事、名古屋市立小学校長を歴任され、昨年度から名音大で教職指導に携わっておられる吉川先生に執筆していただきました。母校の教職指導の一端がお分かりいただけたのではないかと思います。大学が学校現場と関わることには、本会としても協力していく考えです。◆今年、教職に就かれた先生方、ぜひとも子どもたちに好かれ、教職員に愛され、保護者・地域に喜ばれる先生になってください。会員の中には、授業実践や生徒指導、教育相談に長けた方、吹奏楽や合唱で上位入賞に導かれた方等、頼りになる先輩がいます。ぜひ夏の「めいおんの会」に参加してください。同窓・同職同士のつながりをつくるチャンスです。（ゆ）